

企業警備保障

2 発展

【会社概要】

所在地 松江市大庭町1812-5
 営業種目 施設警備・交通誘導警備・
 身辺警備・空港保安・空港
 消防・防災コンサルタント
 ・防災カメラおよびサー
 マルカメラ販売施工・ビル
 総合管理・建物清掃・信用
 調査・医療事務等
 代表者 後長佑
 従業員数 760人
 電話番号 0852(25)6500



後長佑社長=松江市大庭町、企業警備保障本社

営業に強い5代目社長・内田和己のもと、企業警備保障(株)松江市大庭町、後長佑社長)の売り上げは着実に伸びていった。同時にもう一人、営業の要を担ったのが、後に6代目社長となる後長利春(66)だった。利春は大手警備会社・総合警備保障の出身で、その後、複数の警備会社を経て1994(平成6)年6月に企業警備保障に入社した。内田に営業力を見込まれてのもので、利春は出雲市のラピタ、松江市のサティ(現イオン松江店)など大口の仕事を手付けしていった。同時に交通誘導も売り上げが伸びる仕掛けを考え、12月には取締役営業本部長に昇進した。

ポイントピア松江を落札

利春は、総合病院や大型店の仕事を次々に獲得。広島や岡山など県外の仕事も着実に増や



後長利春会長=松江市大庭町、企業警備保障本社

ISO認証で差別化

企業警備保障が請け負った思い出深い仕事の一つに、05(同17)年に開催された愛知万博がある。派遣する社員は50人、期間は6カ月で、アフリカ館とサテライト会場の雑踏警備を担った。愛知万博の売り上げは、約1

営業力で大口の仕事次々獲得 経営支えた愛知万博への派遣

億5千万円。当時の企業警備保障は交通誘導の仕事の減少により、目標売上額に1億円ほど満たなかった。愛知万博がそれをカバーし、経営的にも大きな役割を果たした。

「田舎者が慣れない都会で、半年も家族と離れて暮らした。拘束時間も長く大変な仕事でしたが、大きな事件も起こらず、みんな頑張ってくれました。言葉が通じないアフリカの人たちと、笑顔や身振りで意思疎通できたことで、自信をつけることもできました。世界中から人が集まる大イベントでの仕事を利春は述懐する。



愛知万博での雑踏警備の様子



ISO9001の認証取得時の記念写真。中央が5代目社長の内田和己氏、左が現会長の後長利春氏=2000年

は、従来の警備の枠にとらわれない新たな試みも行った。一つが00(同12)年のISO9001の認証取得だ。ISO9001は品質マネジメントシステムに関する国際規格で、建設業界では取得が入札条件というケースも多

い。同業者との差別化を図るために考えだしたもので、警備業での取得は全国初だった。07(同19)年には、環境マネジメントシステムに関する国際規格、ISO14001認証も取得した。清掃業務や警備業務にお



施設警備の様子

わずか4年で負債解消

ける環境防止対策をマニュアル化したもので、今というSDGs(持続可能な開発目標)に近い。さらに08(同20)年にはISO9001と14001をいずれも返上し、独自の品質・環境管理体制に移行した。ISOを取得した企業は毎年、外部による監査を受けなければならない。監査基準が担当者によって異なることがしばしばで、混乱も多かったのがその理由だった。

多角化にも積極的だった。皮切りは01(同13)年に「環境」をキーワードに始めた、逆浸透膜を用いた純水製造装置と生ごみ処理機の販売だった。さらに03(同15)年には倒産した会社の事業を引き継ぎ、イベントレンタル業に参入。04(同16)年には労働者派遣法の改正を受けて、一般労働者の派遣事業も始めた。

新規事業には1カ月の売り上げが1千万円を超えるものもあったが、機械の不具合が見つかったり、警備業への支障が出たりするなど、現在はすべて中止している。「最終的にいずれも失敗しましたが、まだまだ経営が不安定な時代で、多角化により少しでも売り上げを増やしたい思いがあったと思います。その仕事ぶりを間近で見てきた

利春は、内田の気持ちに思いをはせる。

だが10(同22)年6月、企業警備保障は内田の急逝という思いも寄らぬ事態に見舞われた。突然の訃報に驚く中、ただちに関連会社を含めた役員会が開かれ、議論の末に取締役副社長だった利春が後を受け継ぐことになった。ただ内田の急逝により、企業警備保障は多額の負債を抱えることになった。

「心細い思いでしたが、600人の社員を路頭に迷わすわけにはいきません。引き受けることにしました。苦渋の心境を利春は語る。初年度は出費を極端に引き締め、負債を大きく減らした。4年ほどで金融機関から「もう大丈夫」というお墨付きを得ただけでなく、「こんなに早くクリアできた会社は他にない」との称賛の言葉ももらった。

(文中敬称略)
 (フリーライター・内藤潤)